

放射能汚染

心配から市民を守れ!

党市議団独自の調査を行い、除染を要求

子ども部次長に「子どもがいつも遊んでい

除染を要求「9月に側溝清掃する」と回答

党市議団は岡田県議とともに8月、独自で公園など測定器で市内調査を実施中。私も曾谷・宮久保・大柏地域を調査しました。市内北部の公園側溝から通常の19倍になる高い放射線量が出ました。

0・688μS
V放射線量の
公園も



ご要望があれば調査に伺います。ご連絡下さい。

セシウム137(半減期が約30年)が、今回の事故で漏れ出た量は政府の試算によると、広島原発の約168個分の放射線量を年間1ミリ

政府は年間1ミリSV目標方針

る公園であり除染を」と8月17日、申し入れを実施。市側から「9月中に公園周辺の側溝を全部掃除する」と回答がありました。

徹底した調査・除染・健康管理
日本共産党中央委員会
が提言(8月11日)

SV(毎時0.19μSv)以下を目標とする除染方針を決定しました。土壌の表面に吸着されているセシウムは、雨水の流れる側溝などで線量が高い特徴があります。市内でも局所的なホットスポットが出ています。

原発事故によって大量かつ広範囲に放射性物質が放出され国民の不安が広がっています。提言内容は、国の責任で放射能汚染の実態を正確かつ全面的に把握する調査を系統的に実施する。放射能汚染の規模にふさわしく除染を迅速にすすめる。避難者への支援を抜本的に強化する。内部被ばくを含めた被ばく線量調査・健康管理をすす



8月28日、宮久保地域を2時間調査。2丁目道路側溝上で0.54μSv(写真)、公園入口の側溝でも0.35μSvと高い値がでました。落葉が堆積した排水口や側溝、雨水により土砂等が堆積している箇所などが放射性物質が留まりやすい場所です。測定結果を基に地域における汚染マップを作製し、今後も除染対策を要望していきます。

9月市議会の補正予算(案)(主なもの)

9月市議会に災害対策や市民要望に応えた補正予算(案)8億3021万円を提案。

塩浜護岸工事施設災害復旧工事	3000万円
市営住宅耐震改修工事	4000万円
住宅用太陽光発電システム設置費補助金	1400万円
国府台スポーツセンター陸上競技場修繕	4500万円
少年野球場新設工事(行徳地域)	4300万円
24時間定期巡回・随時対応サービス事業	1169万円
障害者グループホーム運営費補助金	2874万円
勤労福祉センター分館外壁改修工事	2400万円
小・中学校修繕、公園・道路の修繕等(災害、その他)	1億7715万円
特別養護老人ホーム施設整備費補助金(2カ所・柏井町)	3億400万円
水産業施設災害復旧事業補助金	301万円



交差点にカーブミラー設置



曾谷一丁目

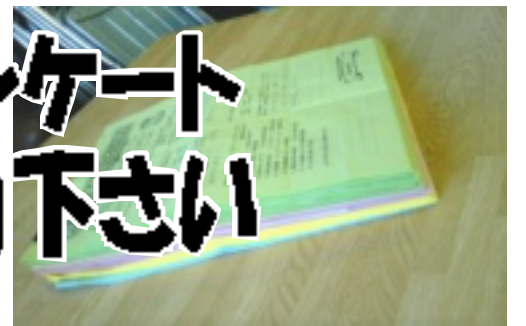
止まれの標識を交差点から下げる。この2つの要望の署名に日本共産党曾谷支部と取り組みました。

曾谷一丁目ヤマザキデイリストア前交差点が大変危険として、感応式信号機の設置

感応式信号機の設置の必要性があるとなりました。当面の安全対策としてこの7月、交差点にカーブミラーが設置されました。



市政アンケートにご協力下さい



右写真は回答されて来たアンケート

日本共産党市議団が実施している「市政アンケート」に回答が寄せられています。その中からいくつかの声を紹介します。

(市長に不満)放射能問題についての対応が遅いし、結局何もしていない。他市の様子を見ているだけで親の要望を聞いてもらえない。議員も多すぎる減らすべき。

40歳：女性

経済衰退してもよい。食の安全確保が大事。自給自足を目標にすべき。金より命。

57歳：女性

(原発撤退)人命尊重、地球環境をこれ以上悪化させてはならない。仕事の量を減らす、

(雇用)主人の会社は9時始業、帰りが毎日終電近く。土日出勤になることが多く、有給休暇も取れない。残業を減らしてほしい。いつ倒れてもおかしくない状態。しっかりと休みがとれるようにしてほしい。

32歳：主婦

生活保護制度を勉強してきました

生活保護問題全国会議等主催の研修会に聞き入る議員



震災法制と生存権を学ぶ議員研修会が8月26・27日、京都

市内で開かれ、日弁連の宇都宮健児会長らの講演や生活保護に関する4つの分科会が開かれました。

生活保護の受給者が全国で202万人(市川市で約5200人)を超え、この15年間で2倍以上の増加。年金暮らしで収入が減る高齢者に加え、病气・長引く

不況で失業したり低賃金で生活保護に頼らざるを得ない人が増加しています。生活保護法は健康で文化的な最低限度の生活を保障する制



私含め4人が市川参加

度で、病气や高齢、働き手の死亡や失業など様々な事情で生活に困ったとき、その足りないところをおぎない、自立を援助します。

保護には、8つの扶助(生活扶助(食べる、着るなど)日常生活の暮らしの費用)住宅扶助(教育扶助)医療扶助(介護扶

助などがあります。基準によって計算された最低生活費と世帯の収入とを比べ、保護費が決まります。能力に応じて働くこと。毎日の支出を計画的に暮らしていく。財産(預金・生命保険など)を活用するなど制約もありますが生活に困っている方はご相談ください。



終戦記念日の8月15日、岡田幸子県議と私は「原発撤退、戦争のない世の中を」と、宣伝カーで議会報告しました(写真は南大野で訴える岡田県議)

お気軽に相談を

仕事くらしの悩み

編集後記

朝晩は涼しくなりましたが体調はいかがですか。日中の猛暑、日傘をさしている男性もいました。9月定例市議会が2日から10月3日までの予定で開催されます。審議する議案は、補正予算、条例関連、10年度決算など、全部で30件です。私は決算特別委員になりました。昨年度予算支出にムダがなかったか、事業の効果がでているのか市政全般を審議(5日間予定)します。また一般質問も行います。ぜひ傍聴においで下さい。

連絡先 金子貞作 337-6184(夜間)